

パイプオルガン設置20周年記念

MANSAI

ボレロ

新しき伝統を紡ぐ

第1部

パイプオルガン コンサート

J.S. バッハ/前奏曲 変ホ長調 BWV 552/1
シャイデマン/アレリヤ、われらの主をたたえよ
ヒンデミット/ソナタ 第1番
J.S. バッハ/フーガ 変ホ長調 BWV 552/2

オルガン：徳岡めぐみ

オルガンとともに鼓動する

獅子の舞とボレロのリズム

第2部

オルガンの ための《獅子》

作曲/近藤岳

舞：梅若紀彰、観世喜正(シテ方観世流)
囃子：竹市学(能管)、前川光範(太鼓)
オルガン：徳岡めぐみ

第3部

MANSAI ボレロ

舞：野村萬斎(狂言師)
オルガン：ジャン＝フィリップ・メルカールト、徳岡めぐみ
スネアドラム：加藤恭子

『狂言劇場その七』より「MANSAI ボレロ」(2011年12月) 撮影：政川慎治

5,000円 (25歳以下 2,500円)

※友の会会員は1割引となります ※車いす席ご利用の方はお問合せください ※未就学児入場不可
※公演の内容等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください
※9階カフェコーナーは中止とさせていただきます

2023
6/3 土

15:00 開演
(14:30 開場)

豊田市コンサートホール
(豊田参合館10階)

入場料
全席指定

チケットのお申込み・お問合せ

豊田市コンサートホール・能楽堂事務室(豊田参合館8階)

受付時間/9:00~21:00 月曜日休館(但し、祝日は開館) TEL:0565-35-8200

インターネット予約 <https://www.t-en.gr.jp/> (キャッシュレス決済のご利用が可能です)

プレイ
ガイド

チケットぴあ

<https://t.pia.jp/>

[店頭購入：セブンイレブン/Pコード 233-182]

芸文プレイガイド

TEL.052-972-0430

※友の会割引・25歳以下割引は、チケットぴあ・芸文プレイガイドでのお取扱いができません。

アメリカのブランボー社による日本で唯一の当館のパイプオルガンが、今年20歳を迎えます。この20年で非常に多くの機会に演奏されることでオルガンの響きがホールに馴染み、オルガンが良い成長をみせていることを実感しています。クラシック以外のジャンルとの共演が果たせたことも大きな成果の一つとなり、何より能楽との共演は能楽堂を有する当館ならではのオリジナリティあふれる内容でした。この場所から日本独自のオルガン文化を発展させていけると確信しながら、21年目からの新たな一歩をこのオルガンとともに始めたいと思います。

ホールオルガニスト 徳岡 めぐみ



徳岡 めぐみ

東京藝術大学音楽学部オルガン科卒業、同大学院音楽研究科修了。安宅賞受賞。ドイツ国立ハンブルク音楽大学を卒業。2001年オランダのアルクマールのシュニットガー国際オルガンコンクールで優勝、併せて聴衆者賞も獲得する。同年、ハンブルク音楽大学でDAAD賞を受賞し、受賞記念コンサートをハンブルクの聖ヤコビ教会で開催する。2002年北ドイツ放送(NDR)音楽賞国際オルガンコンクールで2位を受賞する。帰国後、国内外のコンサートホールや教会などで演奏活動を行う。近年では、能楽やプロジェクト・マッピングとのコラボレーションなど、多彩なジャンルとオルガンとの可能性を探りながら積極的な活動を行っている。現在、豊田市コンサートホール オルガニスト、東京藝術大学非常勤講師、東京音楽大学非常勤講師、片倉キリストの教会オルガニスト、国際基督教大学オルガニスト。2023年4月より、東京芸術劇場オルガニストに就任。



ジャン=フィリップ・メルカールト

ベルギー生まれ。パリ国立高等音楽院でプルミエ・プリ、ブリュッセルのベルギー王立音楽院にて修士号、モンス王立音楽院にてクラシック作曲法修士号を取得。2007年、ジルバーマン国際オルガンコンクール第2位、2009年、ブルージュ国際古楽コンクールオルガン部門第2位受賞。2003年から1年間札幌コンサートホールKitara専属オルガニスト、2011~14年まで所沢市民文化センター ミューズ ホールオルガニストを務めた。現在、那須野が原ハーモニーホールオルガニスト、聖グレゴリオの家宗教音楽研究所講師、片倉キリストの教会オルガン教室講師。2023年4月より、東京芸術劇場オルガニストに就任。CD「フランク、ドビュッシー、サン=サーンス オルガン編曲集」(パリ)等をリリース。



加藤 恭子 (スネアドラム)

東京音楽大学卒業、同研究科修了。菅原淳、野口力、有賀誠門、岡田真理子の諸氏に師事。その後フリー奏者として、国立劇場の音楽公演等国内をはじめ、メキシコ、デンマーク、ルクセンブルク、ドイツ、イギリスなどの現代音楽祭に出演。方響奏者として中国国内のレクチャーコンサート、ニューヨーク、ワシントンD.C.の音楽祭に出演。読売日響、アンサンブル金沢、東京フィル、日本フィル、T.I.M.E.、伶楽舎、各々の海外公演や海外オーケストラの日本公演に客演。「パーカッション・ミュージアム」「シンフォニエッタ静岡」のメンバーとしても活動している。

©KAZUTO SHIMIZU



野村 萬斎 (狂言師)

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦・山月記・名人伝』『国盗人』『子午線の祀り』能狂言『鬼滅の刃』など古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、2021年観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能大賞を受賞。石川県立音楽堂邦楽監督。東京藝術大学客員教授。(公社)全国公立文化施設協会会長。



梅若 紀彰

(シテ方観世流)

1956年生まれ
五百有余年の伝統を誇る能楽観世流梅若家の中において、故五十五世梅若六郎の孫として生まれ、祖父ならびに現当主五十六世梅若実に師事
1960年 「鞍馬天狗」の子方にて初舞台
1968年 「小袖曾我」の五郎役にて初シテを勤める
1982年 「梅栄会」を創立。多数の会員を指導すると共に多くの演能活動を行っている
1998年 重要無形文化財総合指定
2010年 二代梅若紀彰を襲名
2022年 横浜文化賞受賞
能楽協会会員、(財)梅若会理事、梅栄会主宰



観世 喜正

(シテ方観世流)

1970年 三世・観世喜之の長男として東京に生まれる
1973年 仕舞「老松」にて初舞台
1975年 「合浦」にて初シテを勤める
1993年 慶應義塾大学法学部卒業
2014年 重要無形文化財総合指定
公益社団法人・観世九阜会常務理事
公益社団法人・能楽協会常務理事
「のうのう能」「喜正の会」を主宰し、能楽「神遊」、「能の旅人」同人として多くの公演を手掛ける
法政大学大学院、皇學館大学非常勤講師
著書「演目別に見る能装束」「演目別に見る能装束II」(淡文社)



竹市 学

(能管)

1972年生まれ
1983年 藤田流宗家に入門
1984年 初舞台
1996年 国立能楽堂三役養成事業、三期生卒業
『狸々乱』『獅子』『翁』『道成寺』『清経音取』『卒都婆小町』『鸚鵡小町』『姨捨』『檜垣』を披く
ニューヨーク9.11. 追悼公演
ギリシャ・アテネフェスティバルほか海外公演に多数参加
2013年 第29回芸術創造賞受賞
2019年 平成30年度名古屋芸術奨励賞受賞
藤田流 職分、重要無形文化財(総合指定)、一般(社)日本能楽会会員、公益(社)能楽協会会員(名古屋支部)



前川 光範

(太鼓)

1979年生まれ
1984年 22世宗家・金春惣右衛門師に入門
1985年 初舞台『狸々乱』『石橋』『道成寺』『鷲』を披く
2014年 平成25年度京都市芸術新人賞受賞
金春流 職分、重要無形文化財(総合指定)、一般(社)日本能楽会会員、公益(社)能楽協会会員(京都支部)

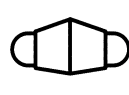
感染症を予防して

～安心のひとつのために～

詳しくは、豊田市コンサートホール・能楽堂ホームページ
または専用チラシをご確認ください



体調不良の方はご来場を
お控えください



場内ではマスクを着用
してください



37.5℃以上の発熱のある
場合は入場をお断りします



手指のアルコール消毒や
手洗いをお願いします



豊田市コンサートホール [豊田参合館10階]

■名鉄豊田線・三河線「豊田市」駅 徒歩5分 ■愛知環状鉄道「新豊田」駅から徒歩5分

受付時間 / 午前9時～午後9時 月曜日休館 (但し、祝日は開館)

〒471-0025 愛知県豊田市西町1丁目200番地 豊田参合館8F
TEL 0565-35-8200 <https://www.t-cn.gr.jp/>